

【Ⅰ. 基本情報について】

1. 貴大学について教えてください。

① 大学名： _____

② 回答者氏名および役職： _____

③ 障害学生支援の担当部署：部課室名 _____

ご担当者 _____

ご連絡先 _____

④ 障害学生のための支援室（学生相談室以外）の有無： ある / なし

以下の項目について、本調査においては特に「発達障害（診断の無い場合も含む）」を対象を絞って伺わせていただきます。貴大学においては、発達障害のみを対象とした取り組みでない場合もあるかと思いますが、発達障害学生（診断の無い場合も含む）に該当する部分について、記入 あるいは でご回答ください。また、以下は診断の無い場合も含んで「発達障害」と記します。

【Ⅱ. 発達障害学生の実態について】

1. 貴大学における発達障害学生の支援状況について教えてください。

発達障害という診断のある学生および疑いのある学生はどのくらい在籍していますか？主となっている発達障害について人数を教えてください。

a. 学習障害 LD (診断あり： 人) (疑いあり： 人)

b. 注意欠如多動性障害 ADHD (診断あり： 人) (疑いあり： 人)

c. 高機能自閉症等 HFA (診断あり： 人) (疑いあり： 人)

d. 不明（どれとも言えない） (人)

2. 発達障害学生を支援する専門委員会等が設置されていますか？

設置されている

設置されていない

・設置されている場合→ 名称：「」

委員会の長の役職：

構成メンバー：(下欄に記入してください)

3. 専門委員会はどのくらいの頻度で開かれていますか？

定まっていない(必要に応じて開催する)

週に1回程度

月に1~2回程度

半期に1回程度

年間に1回程度

その他：具体的に()

4. 他の障害も含め、発達障害学生を支援する専任の担当者は配置していますか？人数を記入の上、それぞれ該当するところを○で囲んでください。(複数回答可)

常勤(人) [コーディネーター/カウンセラー/医師/職員/教員/その他()]

非常勤(人) [コーディネーター/カウンセラー/医師/職員/教員/その他()]

5. 他の業務と兼任で、発達障害学生を支援する担当者は配置していますか？人数を記入の上、それぞれ該当するところを○で囲んでください。(複数回答可)

常勤(人) [コーディネーター/カウンセラー/医師/職員/教員/その他()]

非常勤(人) [コーディネーター/カウンセラー/医師/職員/教員/その他()]

6. 発達障害学生を支援するための外部専門家を活用していますか？該当するところに印をつけてください。(複数回答可)

嘱託等の契約に基づく医師やカウンセラー等

必要に応じて定期的に業務委託している専門技能者

その他 ()

特になし (or 活用していない)

7. 発達障害学生を支援するための環境等として準備されていることはありますか？(複数回答可)

相談室等

一人になって落ち着く部屋 (パニック等を起こした際の対処等)

支援機器：具体的に ()

検査器具等：具体的に ()

その他：具体的に ()

特になし

8. 発達障害学生を支援する上で、組織や体制において課題となっていることを教えてください。
(複数回答可)

運営予算の確保

スタッフ・人員の確保

スタッフの専門性

施設・設備の確保

支援機器や検査器具の確保

その他：具体的に ()

【IV. 教職員の理解や啓発に関すること】

1. 学内の教職員に対して、どのような方法で発達障害学生の支援に関する理解や啓発を行っていますか？(複数回答可)

定期的に研修会を開催している (頻度：)

その他：具体的に（ ）

行っていない

3. 発達障害学生の教育実習に関して、どのような配慮を行っていますか？（複数回答可）

実習に関する特別措置（代替措置）等を行っている

→ どのような措置を行っているかを具体的に教えてください。

個別に事前指導を行う等の特別な指導を行っている

教育実習先との事前連絡を密に行っている

その他：具体的に（ ）

行っていない

4. 発達障害学生の修学上および生活上における支援に関して、課題となっていることを教えてください。（複数回答可）

支援を受けることに対する、学生自身の意欲や動機付けが希薄である

保護者の理解や協力が得られない

教職員の理解や協力が得られない

スタッフの数や専門性が不足している

支援のための施設整備や検査器具等の資源が不足している

相談が継続しない

その他（下欄に記入してください）

【VI. 進路変更等に対する支援に関すること】

1. 発達障害学生の進路に変更が生じた際には、どのような方向性を検討しますか？
 - 可能な限り教員になれるよう支援していく
 - 教員以外の選択肢を示して進路変更を奨める
 - その他：具体的に（ ）
2. 発達障害学生の進路変更に関して、どのような点に留意して支援していますか？（複数回答可）
 - 本人と十分に面談を重ねる
 - 保護者と話し合う機会を設けて、十分に理解と協力を得る
 - ゼミ担当教員と十分に面談を重ねる
 - 外部の相談支援機関等につなぐ
 - 進路や就職に関する相談を行う
 - 心理面でのケアを行う
 - その他（下欄に記入してください）

3. 発達障害学生が進路変更する場合、どのような変更を行いますか？
 - 他大学への転学
 - 学内の他学部への編入学
 - 公務員、企業等への就職
 - 大学院への進学
 - 中途退学
 - その他：具体的に（ ）
4. 発達障害学生の進路変更に関して、課題となっていることについて教えてください。（複数回答可）
 - 学生自身の納得が得られない
 - 保護者の理解や協力が得られない

- 教職員の理解や協力が得られない
- 転学や進学のためのサポートが十分にできない
- 就職のためのサポートが十分にできない
- 心理的なケアが十分にできない地域の資源が不足している
- その他（下欄に記入してください）

【Ⅶ. その他】

1. 発達障害学生の支援に関する貴大学での取り組みや構想等について、自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました